



全国学力・学習状況調査結果

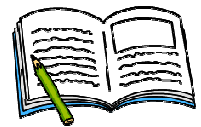
4月18日（木）に行った全国学力・学習状況調査の主な結果について、お知らせいたします。これは毎年小学校第6学年と中学校第3学年を対象としている悉皆調査です。目的は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることであります。以下に、その結果を示しますので、伊豆市のリーフレットと併せてご覧ください。

教科に関する調査の結果



全国平均との比較

全教科において、正答率が全国平均を3ポイント以上、上回りました。しかし、結果は4月時点における学力状況の一部分にすぎません。一人一人に目を移すと、本調査に取り組んだ生徒それぞれに成果と課題があります。結果に一喜一憂することなく、今後も生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上に努めていきたいと思えます。



【本校と全国の平均正答率比較表（教科別）】

教科	国語	数学	英語
本校	◎	◎	◎

【比較表の記号について】

本校と全国の平均正答率を比較して、
◎上回っている。（+3ポイント以上）
○やや上回っている。
△やや下回っている。
▲下回っている。（-3ポイント以下）

【本校と全国の平均正答率比較表（領域別）】

領域	国語				数学				英語			
	・聞くこと 話すこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	数と式	図形	関数	資料の活用	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
本校	◎	◎	△	◎	◎	◎	○	◎	○	△	○	◎

※英語「話すこと」は、初めて各学校のPC端末等を活用し、音声録音形式で実施しましたが、各学校のICT環境が様々であることから、今回は「なし」となっています。

国語

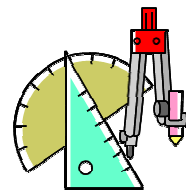
ほとんどの問題で、正答率が全国を上回りました。また、どの問題も無回答率が低く、生徒が一生懸命問題に取り組んだ様子がうかがえます。

その中で全国平均を大きく上回った問題が2つありました。封筒の書き方と、話合いの流れを踏まえ自分の考えを書く問題です。しかし、正答率としては他の問題に比べ高いとはいえないので、再確認する必要があるといえます。また本校は、領域として「読むこと」に課題があります。正答率がよくなかった要因の1つとして、適切なも

のを全て選ぶ必要のある問題がありましたが、1つしか選ばなかった生徒が多かったと思われます。授業では、文章の特徴を把握するとともに、これまでの読書経験や体験などを踏まえ、内容や表現を、想像、分析、比較、相互に関連付けて読むように指導することを意識していきたいと思ひます。

数学

ほとんどの問題で、正答率が全国を上回りました。中でも連立二元一次方程式を解いたり、図形の証明における反例の意味を問われたりする問題では、正答率が全国を大きく上回りました。一方、正答率が低く、無回答率の高かった問題が3つありました。式やグラフを用いて問題解決の方法を説明する問題、与えられた条件が成り立つ四角形について説明する問題、読書時間に関する資料の傾向を的確に捉えて判断の理由を説明する問題です。この3つに共通しているのはどれも説明を求められていることです。授業では、問題解決のために表した図、表、式、グラフ等をどのように用いればよいか説明し合う場面を設定し、検討する活動を今以上に充実させていきたいと思ひます。



英語

ほとんどの問題で、正答率が全国を上回りました。全般的に見ると、特に基本的な語や文法事項等を理解して、正しく文を書く問題が好結果でした。しかし、正答率が低かった問題が2つありました。留学生の音声メッセージを聞いて部活動についてのアドバイスを書く問題と、食糧問題について書かれた資料を読んで自分の考えを書く問題です。この2つに共通しているのは、どちらも英語で答えることです。ただ聞いて理解する、ただ読んで理解するだけでなく、聞き手または読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解していく力が求められています。授業では、目的に応じて文章の要点を把握した上で、得られた複数の情報を取り出して総合的に判断し、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現する活動を意図的に設定していきたいと思ひます。

生徒質問紙に関する調査の結果

学校生活

「自分にはよいところがある」が全国平均を大きく上回りました。生徒は、自分を肯定的に捉え、自信を兼ね備えています。今後も生徒に寄り添い、生活での様子を価値づけ、生徒の自尊感情を高めていけるような指導を心掛けたいと思ひます。また、「学校は楽しい」、「学級の協力」、「進んで人助け」も好結果でした。本校の多くの生徒は規範意識が高く、安心して学校生活を送ることができていることがうかがえます。しかし、人間関係における様々な問題がないわけではありません。引き続き、信頼・尊敬・親愛・協力など、温かい人間関係づくりの育成を意識していきたいと思ひます。

学習習慣

「自分で計画を立てた勉強」、「授業以外の勉強時間（塾・家庭教師も含む）」の結果から、高い意識を持って学習に取り組む生徒がいることが分かりました。しかしながら、そうでない生徒や「新聞をほとんど、または全く読まない」生徒が多いことは、本校の課題といえます。各家庭との協力を継続し、確実に家庭学習や自主学習に取り組むことができるよう支援していきたいと思ひます。

地域や社会

「今住んでいる地域の行事に参加している」が全国平均を上回りました。本校の生徒は、地域の皆さまの温かい見守りの下で健全に育っており、地域の皆さまのご尽力・ご協力に改めて感謝しております。しかし、「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」は全国平均を下回りました。将来、地域で活躍できる大人を目指し、総合的な学習の時間や学校行事を通して、生徒の意識が“参加”から“参画”へ高まるような取組をしたいと思ひます。

